

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
57P

事業名	【新規】 友好親善交流事業「幸田町への友好親善訪問の旅」				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
424万0					424万0
事業期間	平成27年度 (単年度事業)			総事業費	424万0

【事業目的】

愛知県幸田町とは、平成26年10月11日に「島原市と幸田町との歴史と文化の友好交流の推進に関する協定」を締結し、これから交流促進を図ることが確認されました。友好親善訪問を実施することにより、両市・町の交流促進の気運を高めるとともに、各種団体の交流促進を目指します。

【事業概要】

①実施時期 平成27年秋を予定。

②訪問人員 各種団体及び市民一般募集 合計100人

③行程 幸田町及び周辺へ1泊2日の旅。
1日目に幸田町へ訪問、両市・町交流会の開催。
2日目は幸田町内の視察と周辺を視察。終了後、帰路。
1人当たり8万~9万円の旅費を予定。

④補助金の内容

市及び関係団体で組織する実行委員会に対し、事業目的達成のため、次の経費について補助を行う。

- ・幸田町への記念品
- ・交流会参加者への特産品、土産品代
- ・訪問団参加者に対し、旅費補助
(補助額は、旅費の確定に伴い2万~3万円の範囲で決定)
- ・記念写真代、通信運搬費ほか旅行雑費等



島原市と幸田町との歴史と文化の
友好交流の推進に関する協定



幸田町の三河万歳

科目	2款	1項	1目	目名称	一般管理費	秘書人事課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
				・上記事業内容と同じ		

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
71P

事業名	【新規】 中華人民共和国駐長崎総領事館開設30周年記念訪中事業			
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)			
45万4	国費	県費	地方債	その他
事業期間	平成27年度		総事業費	45万4

【事業目的】

平成27年は、中華人民共和国駐長崎総領事館の開設から30周年を迎えるにあたり、総領事館が長崎と中国との交流の懸け橋として重要な役割を果たしてきたことに対し、お礼を申し上げるとともに、今後の経済、文化、観光等の面で長崎県とのパイプ役となる要人の人脈を強化するため、知事を団長として議会、経済界等が一体となって中国政府等へ表敬訪問を行い、日中両国及び長崎県と中国との幅広い交流を促進する。

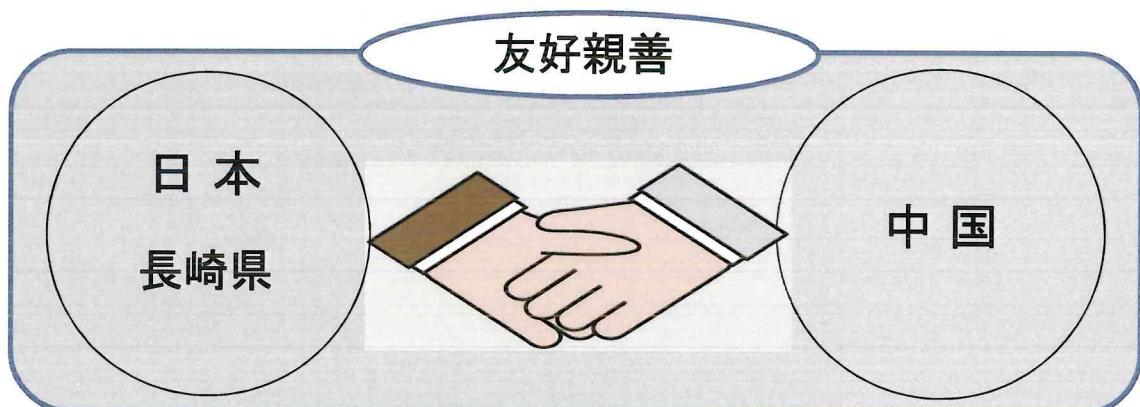
【事業概要】

《日程》(案) 平成27年11月上旬(4泊5日又は5泊6日)

《参加者》(案) 長崎県知事、長崎県議会議長、長崎県議会議員、市町長
市町議会議長、市町議会議員、経済界ほか

《訪問先》(案) 中国外交部、中国日本友好協会等

《主な行事》(案)
 ①習近平国家主席表敬訪問
 ②王毅外交部長表敬訪問
 ③唐家璇中日友好協会会长表敬訪問
 ④中華人民共和国駐長崎総領事館30周年記念祝賀会



科目	2款	1項	7目	目名称	企画費	政策企画課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	—		中国訪問		—	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
71P

事業名	【継続・人口減少対策】 島原市めぐりあい事業実行委員会補助金				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
100万0					100万0
事業期間	平成23年度～			総事業費	100万0

【事業目的】

地元で頑張る若者達が「ふるさと島原」に夢と希望を持てるような「めぐり逢いの場」を提供し、さらに、この出会いをきっかけとして、定住人口の増加はもちろんのこと、地域産業の魅力を活かした出会いと交流の場の創出を図ります。

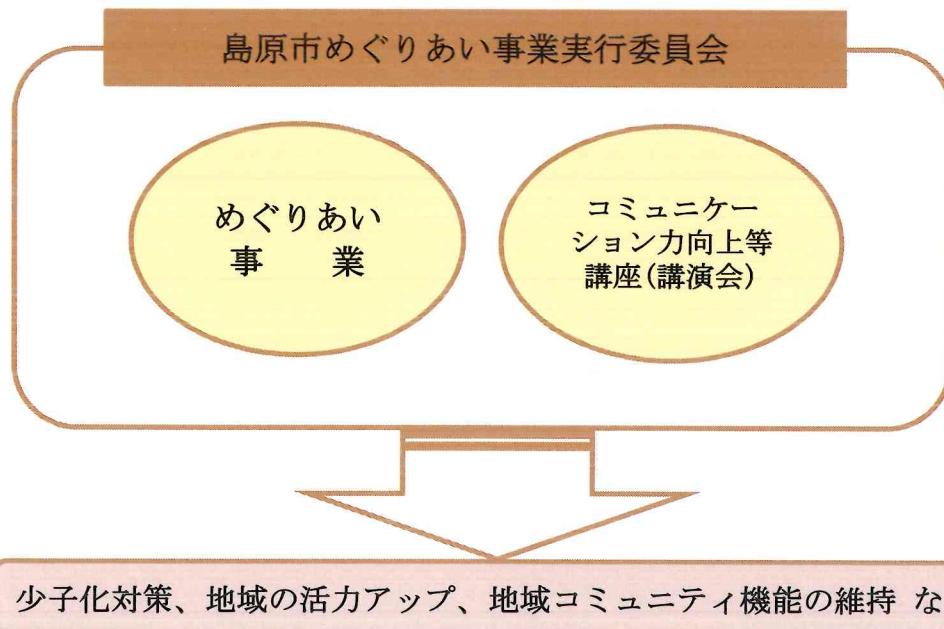
【事業概要】

《実施主体》 『島原市めぐりあい事業実行委員会』

- ①めぐりあい事業の開催
- ②未婚者本人のコミュニケーション力向上等を目的とする講座（講演会）の開催

【事業効果】

◇少子化対策、地域の活力アップ、地域コミュニティ機能の維持 など



科目	2款	1項	7目	目名称	企画費	政策企画課
事業計画	前年度まで			今 年 度		来年度以降
	・めぐりあい事業 ・コミュニケーション力向上等の講座（講演会）の開催	・めぐりあい事業 ・コミュニケーション力向上等の講座（講演会）の開催	・めぐりあい事業 ・コミュニケーション力向上等の講座（講演会）の開催			

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
73P

事業名	【継続】 しまばら国際化推進事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
22万5					22万5
事業期間	平成24年度~			総事業費	22万5

【事業目的】

市民一人ひとりが異文化交流により国際感覚を醸成し、より多くの国際化に対応した人材の育成を図りながら、活力あるまちづくりを目指す。

【事業目的】

- ①異文化学習「国際理解講座」
 - ・広く市民に国際感覚の醸成を図るために、平成27年度からは語学講座にかえ国際交流員などによる国際理解講座を開催する。
- ②国際交流イベント
 - ・地域における国際理解の醸成と地域文化の向上を目指すために国際交流イベントを開催する。併せて、ボランティア団体とのネットワークづくりや団体の支援にも努める。

【事業効果】

- ①自主的な国際交流
- ②国際化を推進する市民団体の育成



科目	2款	1項	7目	目名称	企画費	政策企画課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	外国語中級講座 国際交流イベント			異文化学習「国際理解講座」 国際交流イベント		異文化学習「国際理解講座」 国際交流イベント

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
73P

事業名	【継続・人口減少対策】 しまばらハッピーライフ応援事業				
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
737万2					737万2
事業期間	平成26年度～			総事業費	737万2

【事業目的】

結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行うために、「しまばらお世話し隊」「しまばらお世話コーディネーター」を配置するとともに、企業や市民とも連携し、各ステージへの支援等を行い、少子化対策や地域活性化、定住促進も併せて図っていく。

【事業概要】

①相談窓口の開設

- ・コーディネーター、お世話し隊による結婚・妊娠・出産・育児における様々な相談にワンストップで情報提供を行う相談窓口『ハッピーカフェ』を開設。

②「しまばらお世話し隊」の募集

- ・結婚から育児までの支援の連携強化を図り、更なる活動を促進する。

③情報発信・情報提供

- ・結婚登録者への情報提供やアプローチを行う。
- ・拠点施設における各種教室の開催により交流や情報を発信する。

⑤人材育成講座等の開催

- ・結婚・妊娠・出産・育児の各ステージごとに各種講座を開催し、お世話し隊の人材育成や相談者との情報の共有を図る。

【事業効果】

◇出会い、結婚、妊娠から出産・育児までの一体的な支援を行う相談窓口を設置し、コーディネーターやお世話し隊を配置することにより、結婚に不安を持つ独身者や、子育ての負担を1人で担うことに不安を持つ妊娠期の方、多様な子育て支援サービスを知らない方などが様々な支援制度を知ることで、躊躇することなく安心感を持って子育てや仕事に取り組むことが可能になり、希望する数の子どもを産み育てられる環境づくりができる。



科目	2款	1項	7目	目名称	企画費	政策企画課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	『結婚から妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援』 ・相談窓口開設 ・お世話し隊募集など	『結婚から妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援』 ・相談窓口設置 ・お世話し隊の活動促進など	『結婚から妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援』 ・相談窓口設置 ・お世話し隊の活動促進など			

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
77P

事業名	【継続】 島原情報マイスター認定講座				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
62万2					62万2
事業期間	平成25年度~			総事業費	62万2

【事業目的】

平成25年度から島原情報マイスター認定講座を開催し、現在33名の「島原情報マイスター」の認定を行っている。島原情報マイスターは、Facebookページ「さあいこう！島原」に、島原の旬な情報やイベント情報などの情報発信を日々行ってもらっている。

【事業内容】

- ① 島原情報マイスター認定講座開催（既認定者向けフォローアップ研修）
- ② イベント会場や、観光施設からリアルタイムな情報を発信できるよう、島原情報マイスターの活動に対する利便性向上を図る
- ③ 島原情報マイスターの上位ランク「グランマイスター」認定
→グランマイスター認定者に対しては、タブレットの貸出を行い、積極的な情報発信に努めていただく。

【島原情報マイスターの活動状況】

Facebookページ「さあいこう！島原」

<https://www.facebook.com/go.shimabara/> <講座風景>



■島原情報マイスター認定者 33名

■活動内容 Facebookページ「さあいこう！島原」への投稿

■投稿実績（平成25年12月～平成26年12月4日）

・記事の投稿数 113件（約3日に一度の更新）

・記事の閲覧数 トータル157,221ビュー（月平均閲覧数 13,101ビュー）
(記事1投稿最大 23,320ビュー)

科目	2款	1項	7目	目名称	企画費	政策企画課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	島原情報マイスター認定講座開催（認定者33名）			・島原情報マイスター認定講座開催 ・上位ランク「島原情報マイスター」認定者へタブレット貸出		・島原情報マイスター認定講座開催

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事業名	【継続】 観光宿泊施設支援事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,654万3					1,654万3
事業期間	平成23年度～平成27年度 (複数年度事業)				総事業費

【事業目的】

観光の基幹となる温泉給湯事業を利用するホテル・旅館に対して支援を行います。
もって観光の振興を図り、観光産業の存続及び雇用の場の確保を図ります。

【事業概要】

対象者	温泉給湯事業を利用する市内の宿泊施設
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の振興に寄与する事業にかかる経費 ア. 宣伝、PRに要する経費 イ. 借上げ等に要する経費 ウ. 地元の食材の提供等、地産地消に要する経費
補助限度	当該年度の供給量に係る温泉使用料のうち納付した額の2分の1を上限
証明添付	市税及び温泉使用料の滞納がないことを証する書類



[補助額]	(円)
H23決算	9,891,000
H24決算	8,850,000
H25決算	12,554,000
H26決算	15,396,000

※平成26年度は消費税増額分の増

科目	7款 1項 3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで		今 年 度	来年度以降
	今年度に同じ	本市温泉給湯事業を利用する宿泊施設を対象に、本市観光振興に寄与する事業に係る経費に対する補助		来年度以降要検討

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事業名	【継続】 島原城七万石物語事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,475万6		590万2			885万4
事業期間	平成26年度~			総事業費	

【事業目的】

島原藩七万石の成り立ちを当時の歴代藩主等の登場を含めながら史実に基づき、歴史演出等を行うことで、島原ならではの魅力体験などを通して観光客の満足感・充実感を高め、観光の活性化を図ります。

【事業概要】

委託先 一般財団法人 島原城振興協会

雇用人数 5人

業務内容 ○島原城七万石武将隊として、観光施設等を中心に演舞披露

○観光客へのおもてなしサービスやイベント等での武者行列

○甲冑等を活用した観光客の武将体験（島原の魅力体験）

○市内外のお祭りやイベント等への積極的な参加

○インターネット等を活用し、全国各地の武将隊や戦国マニアとの
情報交換・発信



武将体験



イベント参加



シャッターサービス



情報発信 (HP、FB等)



武者行列

科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・ 演舞披露	・ 演舞披露	・ 演舞披露	・ 市内イベントでの武者行列	・ 甲冑等による武将体験	・ 市内イベントでの武者行列
	・ 市内イベントでの武者行列	・ 市内イベントでの武者行列	・ 甲冑等による武将体験	・ 市内外のイベント参加	・ 市内外のイベント参加	・ 甲冑等による武将体験
	・ 甲冑等による武将体験	・ 甲冑等による武将体験	・ 市内外のイベント参加	・ SNS等による情報交換・発信	・ SNS等による情報交換・発信	・ 市内外のイベント参加
	・ 市内外のイベント参加	・ SNS等による情報交換・発信				・ SNS等による情報交換・発信

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事業名	【継続】 湧水城下町おもてなし事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,349万1		539万7			809万4
事業期間	平成26年度~			総事業費	

【事業目的】

本市特有の財産である湧水や城下町などの魅力を発信する観光案内人の配置をはじめ、郷土料理の調理体験や参加型イベントの展開による市内観光の楽しみを創出し、観光客の拡大と市内滞在時間の延長による地域活性化を図ります。

【事業概要】

- 観光案内人の配置（しまばら湧水館、観光ガイド大手門番、熊本港）
- 島原の魅力体験（郷土料理の調理体験）
- 観光客の参加型イベントの展開による周遊型観光の促進

【事業主体】

島原温泉観光協会



熊本港案内所



かんざらし調理体験 (湧水館)



謎解き宝探し (大手門番)

科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで		今 年 度		来年度以降	
	・大手門番、湧水館、熊本港に案内人を配置 ・かんざらし体験の実施 ・謎解き宝探し（大人向け）の開発と実施		・大手門番、湧水館、熊本港に案内人を配置 ・かんざらし体験の実施 ・謎解き宝探し（大人向け）の開発と実施		・大手門番、湧水館、熊本港に案内人を配置 ・かんざらし体験の実施 ・謎解き宝探し（大人向け）の開発と実施	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事 業 名	【新規】 観光誘致プランニング事業				
	財 源 内 訳				
当 初 予 算 額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
735万8					735万8
事 業 期 間	平成27年度～			総 事 業 費	

【事業目的】

- ・現在の体制、通常業務の中で取り組みが手薄な「誘致活動」の充実を図ります。
- ・誘致活動を主体的に担う人材を配置し、関係機関との連携により誘客効果を高めます。
- ・職員は異動を伴うため、長期の継続勤務が可能な専門職として配置します。
- ・企画、提案を含めて幅広い活動を展開してもらいます。

【雇用者】 2人（民間において観光誘客に活躍した豊富な経験あり）

【事業内容】 ○修学旅行

- ・県観光連盟主催 … 関東、東海、近畿、中国、沖縄
- ・島原半島観光連盟主催 … 九州内、中国地方

○インバウンド

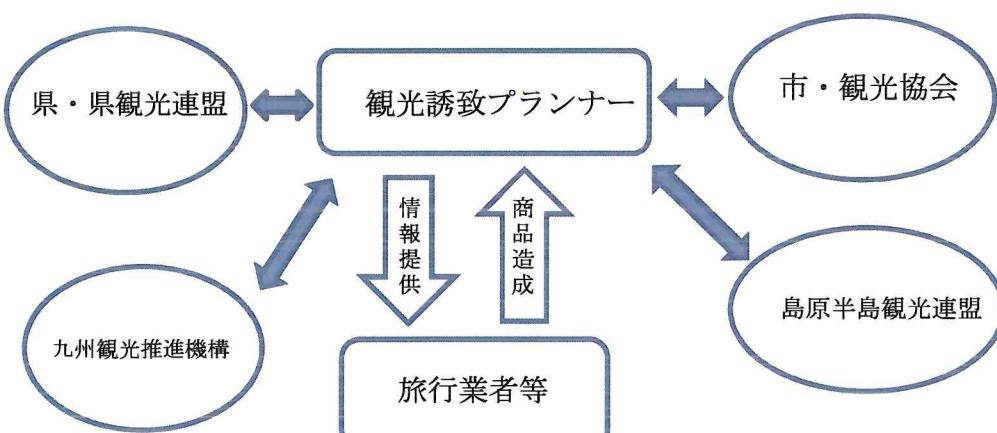
- ・県（観光連盟）、九州観光推進機構

○一般誘致活動

- ・市単独、もしくは観光協会との連携によるエージェント訪問、セールス活動
- ・島原半島観光連盟主催の誘致・セールス活動

○スポーツコンベンション

- ・県（観光連盟）とのタイアップ



科 目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画				前 年 度 ま で	今 年 度	来 年 度 以 降
				—	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外への観光客誘致 ・旅行代理店への営業活動 ・企画提案 ・旬の素材活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外への観光客誘致 ・旅行代理店への営業活動 ・企画提案 ・旬の素材活用

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事業名	【新規】 100年まつり事業				
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
106万0					106万0
事業期間	平成27年度~			総事業費	

島原水まつり



精霊流し



島原温泉ガマダス花火大会



既存イベント・行事の見直し

100年まつりをつくる会



しまばら温泉不知火まつり



島原半島ツーリズムマーチ



島原ウインターナイトファンタジア

【事業目的】

●本市独自の新たなまつりの創造●

100年もの長きにわたり続いていくような
年代を問わず、参加する人も、見る人も楽しめ
活力を与え、観光客の誘致に繋がるまつり

賑わいを生み、交流人口の増加で、まちの活性化



先進地視察
意見交換
検討



科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			• 100年まつりをつくる会の立上げ • 先進地視察 • 既存イベント等の見直し		• 100年まつりをつくる会の運営 • 具現化に向けた検討

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

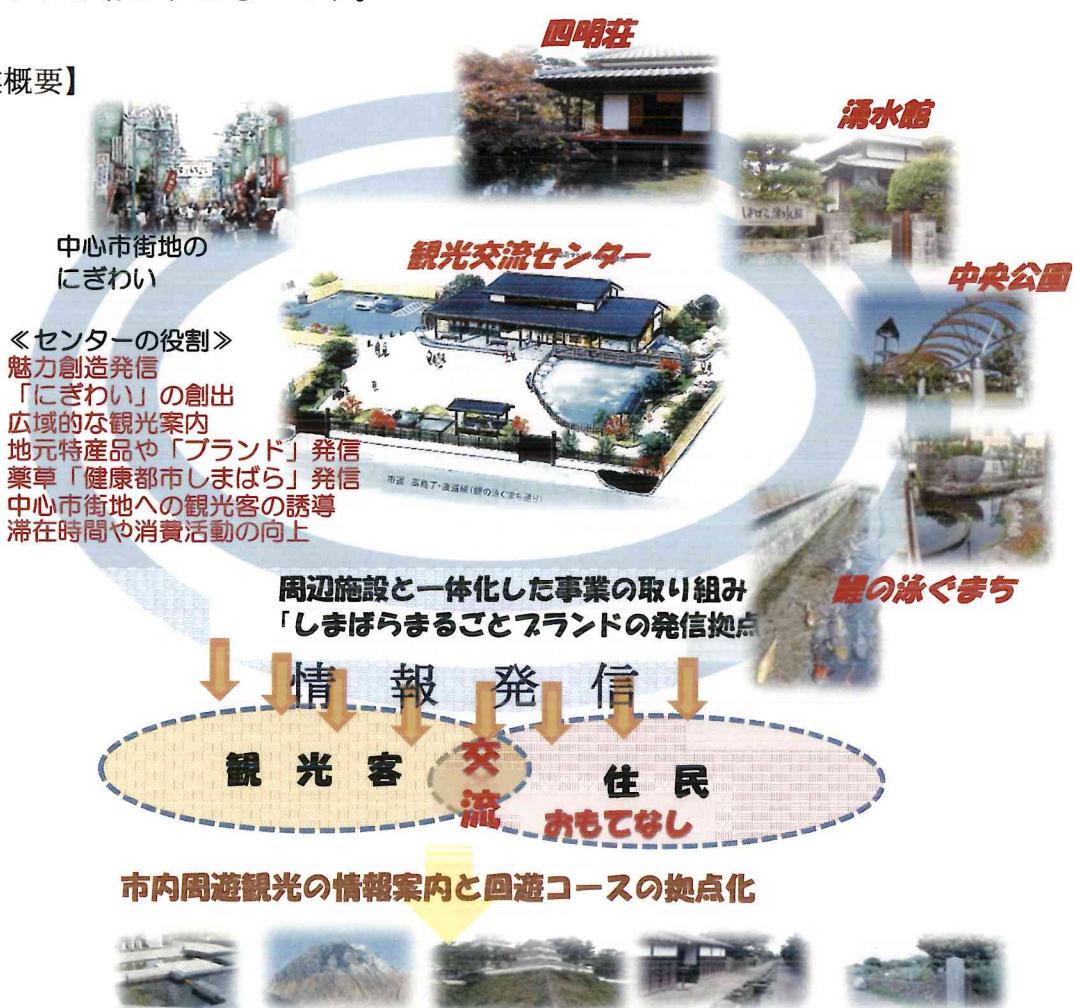
当初予算書
219P

事業名	【新規】 鯉の泳ぐまち観光交流センター管理事業				
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,112万7					1,112万7
事業期間	平成27年度~ (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

新町二丁目の鯉の泳ぐまち周辺に拠点となる新たな施設を整備することで、観光情報の発信、市内観光回遊コースの拠点化、物産の紹介・展示、市民参加型イベントの開催等を推進し、既存の観光資源である「四明荘」や「湧水館」と一体化した取り組みにより、「しまばらブランド」の情報発信と地域の人々の交流を進めることから新たな付加価値を生み出して、人と地域が輝くことにつなげる場とするものです。

【事業概要】



科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで		今 年 度		来年度以降	
	用地取得・測量・設計・施工		供用開始		・観光客の動向・ニーズなどの情報収集 ・指定管理への移行	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
221P

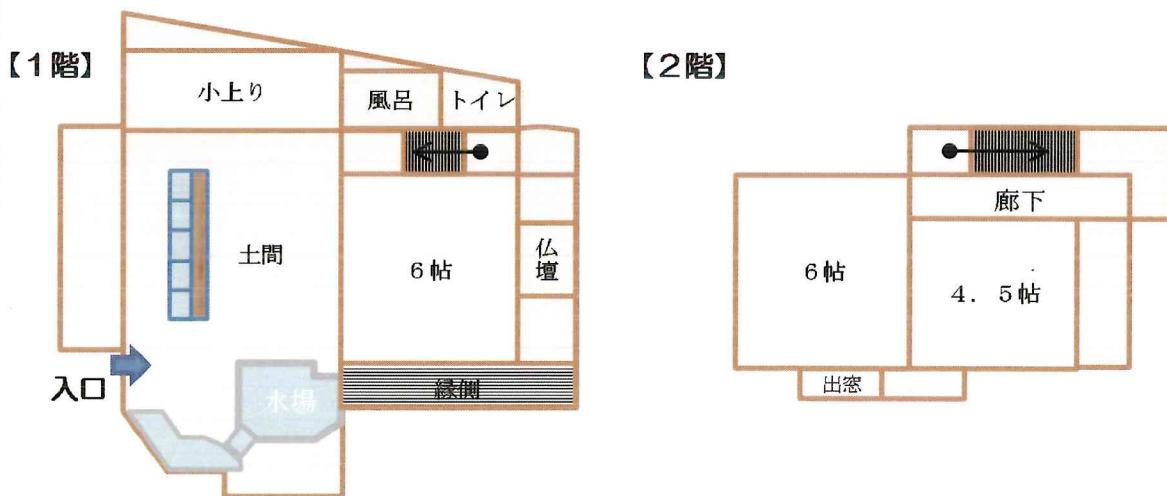
事業名	【新規】 銀水建物保存修理事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,100万0	800万0				1,300万0
事業期間	平成27年度 (単年度事業)		総事業費	2,100万0	

【事業目的】

- かんざらしの名所「銀水」の土地・建物を取得し、保存修理を行うことで、新たな観光資源として再生しようとするものです。
- 建物は老朽化が進み、放置すれば倒壊の恐れがあります。
- 平成26年度において土地購入（建物は寄付）、土地測量、建物調査設計を行いました。
→平成27年度に建物保存修理工事を行い、年度内にオープンする予定です。

財源：国庫補助 社会資本整備総合交付金交付金
 第2期島原市中心市街地地区都市再生整備計画事業
 基幹事業 既存建造物活用事業（観光施設整備事業）

(案)整備後の活用方法は、観光交流センターという位置付けで、管理については、公募により、この場所に来ないと見られない匠の技などの作業スペースに提供し、あわせて、寒ざらしの体験や観光案内なども行うスペースとして活用するなど、活用方法を検討しているところです。



科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	土地・建物取得、土地測量、建物調査設計			・建物保存修理工事 ・工事完了後運用開始予定		・管理運用

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
255P

事業名	【継続】 ウォーキング・ランニングコース整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,360万0					1,360万0

事業期間 平成26年度～平成28年度 (複数年度事業) 総事業費 3,900万0

【事業目的】

地域住民の健康増進及び地域経済の活性化を図るため、身近で気軽に楽しめるウォーキング・ランニングコースを整備します。

なお、整備後はウォーキング・ランニング等の大会を開催し地域経済の活性化を図ります。

【事業概要】

- ①水無川導流堤内にウォーキング・ランニングコースを整備
(平成26年度から28年度までの3か年の事業)

- ②水無川導流堤内にコースの舗装や案内板等を設置 (全長約3,000m)



科目	8款	5項	2目	目名称	公園費	道路課
事業計画	前年度まで			今 年 度		来年度以降
	1,300m整備			約900m整備		約800m整備

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
295P

事業名	【継続】 郷土史研究支援事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,347万3	2,347万3				
事業期間	平成26年度～平成27年度 (複数年度事業)			総事業費	4,183万3

【事業目的】

市民が求める郷土史の研究を支援する為に、事業で雇用した者に情報の収集・整理・加工・発信技術及び文化財の調査・保存並びに郷土史の知識を身に着けさせ、文化財調査業務、教育施設、観光分野で活躍できる人材を育てます。

【事業概要】

本事業での雇用者は、市民の郷土史研究の手助けとなる資料集等の作成並びに市民向けの郷土史講座及び郷土史の調べ方講座を企画・運営し、その中で情報の収集・整理・加工・発信技術及び文化財の調査・保存並びに郷土史の知識を身に付けさせます。

1. 郷土史調査支援

①歴史・文化財等調査支援

- ・本市の歴史、文化財についての研究の手助けとなる資料の作成

②重点分野調査支援

ア. 島原城調査支援

- ・島原城についての研究の手助けとなる資料の作成
- ・島原城絵図資料集の作成(収集・撮影・画像処理等含む)
- ・本市所有の島原城資料の整理(出土遺物を含む)

イ. 本光寺調査支援

- ・本光寺についての研究の手助けとなる資料の作成
- ・本光寺所蔵資料の情報整理

2. 郷土史調査の人材育成

①市民向け郷土史講座の企画・運営

市民の郷土史研究への関心を高める講演会の開催を企画。

- ・深溝本光寺松平家墓所について

講演会形式。講師は、深溝本光寺松平家墓所調査委員など。

②郷土史の調べ方講座の企画・運営

- ・本事業の雇用者が講師となり、市民向けの郷土史の調べ方講座を開催。

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	平成26年12月事業開始 契約額1,836万0千円		平成27年11月事業終了		—	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
297P

事業名	【継続】 島原市自主事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,041万4					1,041万4
事業期間					総事業費

【事業目的】

市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、市民文化の向上と地域活性化に繋げる目的で行います。

【事業概要】

昨年度まで、年間4本程度を目途に公演を実施していましたが、平成27年度は、従来型の公演は2本程度にとどめ、新たな試みとして、市民や民間のすぐれたアイデアを募集する「公募型」自主事業を実施します。

平成27年度 島原市自主事業【実施予定】

(名称)	(開催時期)	(会場)	(備考)
和魂樂匠 ジョイントコンサート	6月予定	有明文化会館	市政75周年記念
BEGINコンサート	1月予定	島原文化会館	噴火災害25周年記念
「公募型」自主事業	年4本程度	文化会館など	市民や民間からアイデアを募集
長崎新聞クリスマス 子ども大会	12月予定	島原文化会館	長崎新聞社との共催事業
島原子ども狂言 ワークショップ	5月～2月	島原文化会館	

自
主
事
業

●舞台芸術鑑賞事業
公演等、優れた芸術鑑賞の実施

●「公募型」事業
市民や民間からのアイデアを募集

●体験型事業
子ども狂言ワークショップの実施

地
域
文
化
活
性
化

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	○「娯楽系」「有名アーティスト系」「芸術系」「子ども向け」の4本程度の公演を実施しました。 ○通年のワークショップを実施しました。		○従来型での公演 ⇒ 2本 ○共催事業 ⇒ 1本 ○公募型での自主事業 ⇒ 4本程度 ○通年のワークショップ		引き続き継続予定です。	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
303P

事業名	【継続】 島原城石垣調査報告書作成事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
458万5	229万2	13万7			215万6
事業期間	平成24年度～平成27年度 (複数年度事業)			総事業費	1,416万5

【事業目的】

平成24年度から26年度にかけて実施した、「島原城石垣台帳作成業務」の調査成果をまとめた報告書を作成、刊行します。

【事業概要】

○事業内容

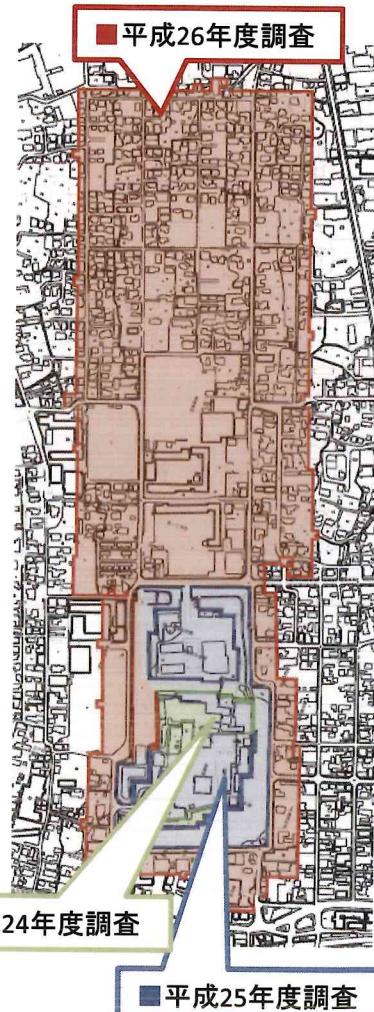
石垣台帳の作成（平成24年度～平成26年度）
森岳城跡の石垣を面ごとに現況写真をデジタル・プロニード（モノクロ）で撮影。現地で石垣の高さ・横幅等の計測を行い、城郭石垣に精通した者の目視により、過去の積直し回数、石垣のハラミ、石材の割れ等、破損状況を確認しました。既知の絵図等から、修復履歴も合わせて調査し、現地の状況との整合性をとりました。現地での計測及び調査結果を現況写真に注記した台帳を作成し、また、外郭部分の調査では、祠（ほこら）などの構造物や水路等の調査を行いました。併せて、島原城に関する絵図・地籍図等の調査も行いました。

○調査報告書の公開

平成27年度に調査報告書を刊行し、研究機関・図書館等に配布、公開します。

○調査報告書の活用

石垣補修のための参考資料、文化財指定のための基礎資料とします。



科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	島原城の石垣や構造物の現地調査と島原城関連絵図の調査を行いました。		平成24年度から26年度の調査成果をまとめた調査報告書を刊行します。		—	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
303P

事業名	【新規】 島原藩主深溝松平家墓所調査事業				
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
583万5	291万8	17万5			274万2
事業期間	平成27年度～平成29年度 (複数年度事業)			総事業費	1,483万5

【事業目的】

本光寺に所在する島原藩主深溝松平家墓所の国の史跡指定にあたって必要となる本光寺境内及び墓所の測量と本光寺所蔵資料の調査を行います。

調査にあたっては、石造物等の研究者や専門家による調査指導委員会を設置し、指導・助言を得ながら調査を実施します。

【事業概要】

平成26年1月に文化庁主任調査官が本市本光寺の松平家墓所を現地視察され、「幸田町の松平家墓所が平成25年11月に国の史跡に答申(告示は平成26年3月)されている。これに追加する形で島原の松平家墓所も国の史跡に指定することができる。指定範囲として、墓所のほか本光寺の境内全体を含めた指定を考えているが、指定にあたっては、境内の詳細な地形測量図と墓碑の実測図を作成し、本光寺が所蔵する古文書、絵図等文献資料(平成2年～5年に資料調査済)の追加調査が必要である。また、調査等にあたっては、古建築、石造物、文書等の専門家による調査指導委員会を設置して行うべき。」との指導があったことにより国の史跡指定を目指して調査を行います。

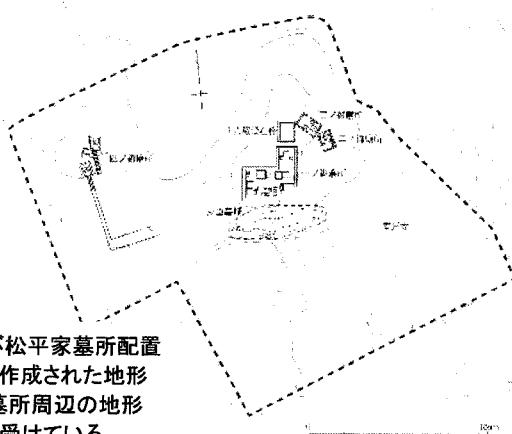
平成27年度は調査指導委員会を設置し、本光寺境内の地形測量と文献資料の調査を行います。

○島原藩主深溝松平家墓所調査指導委員

専門委員 5名 建築・古文書・陶磁器・石垣・石造物の専門家
委員 3名 市文化財保護審議会長・松平文庫学芸員・本光寺護持会
助言者 2名 文化庁主任調査官、長崎県学芸文化課担当者
事務局 島原市教育委員会社会教育課

○本光寺松平家墓所地形測量業務

松平家墓所範囲 一ノ御廟～四ノ御廟
及び十六羅漢 測量 合計2,465m²
本光寺境内地形測量 約36,000m²



○本光寺所蔵資料追加調査

平成28年度

個別実測

松平家墓碑 : 34基
家老墓碑 : 32基
十六羅漢石像 : 17基

平成29年度

調査及び測量報告書作成

本光寺境内及び松平家墓所配置
※航空写真から作成された地形
図であるため、墓所周辺の地形
は樹木の影響を受けています。

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	文化庁の現地視察の際に、本光寺境内及び松平家墓所の測量・調査についての指導を行います。		・調査指導委員会設置、開催 ・本光寺境内及び松平家墓所の測量 ・本光寺所蔵資料の調査		・調査指導委員会開催 ・墓碑及び玉垣の実測 ・本光寺所蔵資料の調査 ・調査報告書刊行	

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

327P

事 業 名	【継続】 九州学生駅伝大会開催事業				
	財 源 内 訳 (単位:千円)				
当 初 予 算 額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,900万0					1,900万0
事 業 期 間	平成10年度~			総 事 業 費	

【事業目的】

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬的一大スポーツイベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠する大会として島原半島ジオパークは、もとより島原を県内外へアピールします。また、九州の優秀なアスリート達が本大会を走りたいと思うような九州学生ランナーにとって目標となる大会を目指します。

【事業概要】

《経緯》 復興に取り組む「元気な島原」と新しい観光資源としての「平成新山」をアピールすることや島原半島の地域振興・活性化に寄与することを目的にしています。

合併前の平成10年度から1市16町が一丸となり誘致し、平成20年度からは、島原市1市での開催となり、島原市内一円コースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。

《主体》 九州学生駅伝対校選手権大会実行委員会

※構成団体は以下のとおりです。（ ）内は主な役割。

- ①九州学生陸上競技連盟（大会・選手運営及びエントリー関係・式典催事）
- ②島原市（会場及びコース管理・大会運営）
- ③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会（競技運営）
- ④長崎国際テレビ（報道関係・大会広報）

《期間》 開 始：平成10年度～（女子：平成17年度～）

期 日：12月 第1土曜日 (H10、H11、H25、H26 除きます)

《内容》

- ・九州学生駅伝対校選手権大会 7区間 56.30キロ（島原市内コース）
- ・九州学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.87キロ（島原市内コース）



科 目	10 款	5 項	2 目	目名称	ス ポ ー ツ 振 興 費	ス ポ ー ツ 課
事 業 計 画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業を実施			上記事業を実施		上記事業を実施予定